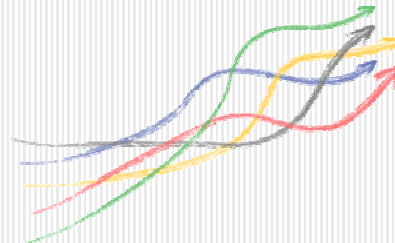


## 2007年9月期 中間決算説明会

2007年5月31日



本資料および本説明会の説明には、  
当社（連結子会社を含む）の見通し、  
目標、計画、戦略などの記述が含まれております。  
これらの記述は、当社が現在入手している  
情報に基づく判断や仮定に基づいており、  
将来における当社の実際の業績または展開と  
異なる可能性があります。

（株）ACKグループは株式移転により（株）オリエンタルコンサルタンツ  
の完全親会社として2006年8月28日に設立いたしましたので、  
それ以前は（株）オリエンタルコンサルタンツの数値を記載しております。

## 本日の内容

- I : 2007年9月期 業績ハイライト
- II : ACKグループ設立からこれまでの取り組み
- III : 今後の経営戦略
- IV : 2007年9月期中間決算 業績報告

## I : 2007年9月期 業績ハイライト



| 2007年9月期 業績ハイライト |                     | (単位: 百万円、%)      |                |                 |
|------------------|---------------------|------------------|----------------|-----------------|
|                  |                     | 売上高              | 経常利益           | 当期純利益           |
| 中間               | 前期<br>(・06/09期)     | 6,715            | ▲342           | ▲215            |
|                  | 当期<br>(・07/09期)     | 7,656            | ▲421           | ▲313            |
|                  | 増減                  | 940<br>(14.0%)   | ▲79<br>(—)     | ▲98<br>(—)      |
| 通期               | 前期<br>(・06/09期)     | 17,167           | 517            | 106             |
|                  | 当期(予想)<br>(・07/09期) | 22,500           | 650            | 290             |
|                  | 増減                  | 5,332<br>(31.1%) | 132<br>(25.5%) | 183<br>(171.1%) |

注: ・06/09期(中間)は(株)オリエンタルコンサルタンツの実績であります。

受注増加、M&Aによる  
グループ規模の拡大

既存・新規事業会社の  
業績の季節的変動特性  
により  
**中間赤字、通期黒字  
の振幅が拡大**

ACKG

6

2007年9月期 業績ハイライト

通期 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位: 百万円、%)

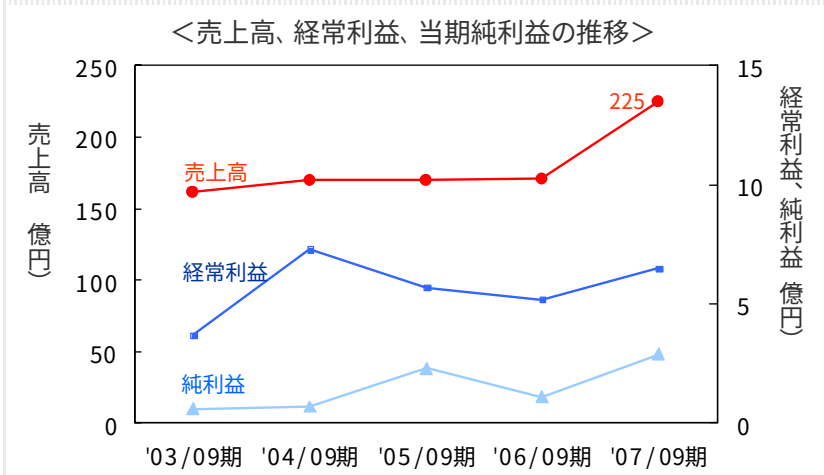
|                | 売上高    | 経常利益 | 当期<br>純利益 |
|----------------|--------|------|-----------|
| 期首計画<br>(A)    | 19,500 | 530  | 240       |
| 修正予想<br>(B)    | 22,500 | 650  | 290       |
| 増減額<br>(B - A) | 3,000  | 120  | 50        |
| 増減率<br>(%)     | 15.4   | 22.6 | 20.8      |

大成基礎設計(株)、  
吉井システムリサーチ(株)  
の下期業績が寄与し、  
利益水準は2割以上の増加

利益拡大  
安定利益創出へ

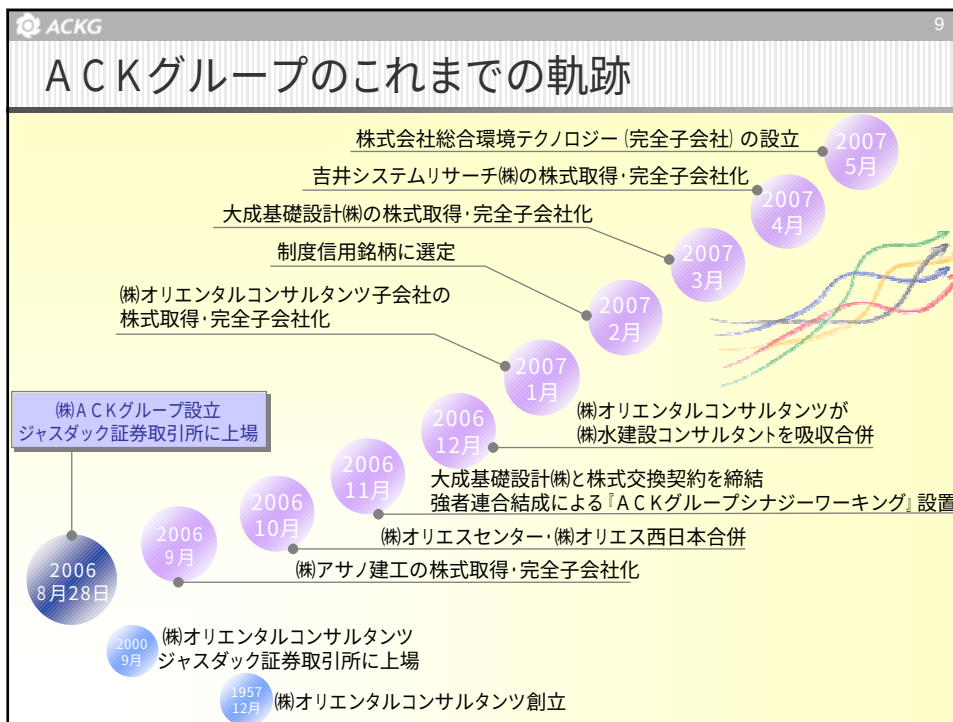
## 2007年9月期 業績ハイライト

## ◆売上、利益 拡大基調のステージへ



注: '05/09期以前は (株) オリエンタルコンサルタンツの実績であります。

## Ⅱ：ACKグループ設立から これまでの取り組み



ACKG 10

## (株)アサノ建工の完全子会社化 (2006年9月)

～建設部門のワンストップサービス確立、  
環境分野とのシナジー創出へ～

- 調査・コンサルタント：水源・地質・環境等の調査、土壌汚染・地下水汚染対策等
- 設計・施工：さく井工事、温泉井工事、アスベスト対策、建物解体等

▲さく井工事  
70年にわたる豊富な実績と  
ノウハウの蓄積

▲温泉井工事  
温泉開発のトータルサポート  
沖縄のリゾート開発を連続受注

◀アスベスト対策

官公庁：14%  
民間：86%

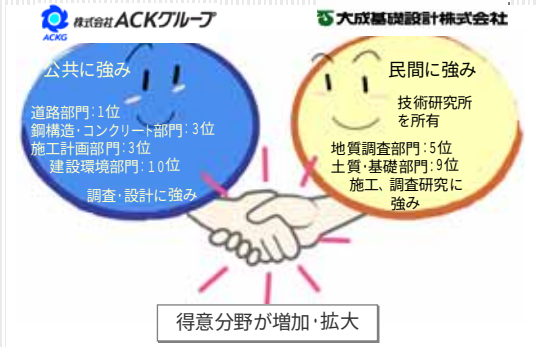
売上高の発注者別の内訳

## 大成基礎設計(株)の完全子会社化

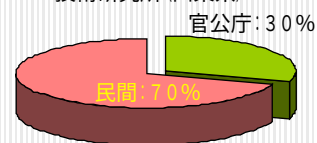
(2007年3月)

～強者連合結成による新たなサービス創出と  
経営資源の有効活用によるグループ経営の効率化～

- 企業同士の顧客、技術分野共に重複がない貴重かつ有効なケース
- 事業拡大や新規事業を開発することを目的にシナジーワーキングを設置



技術研究所 (山梨県)



売上高の発注者別の内訳

## 吉井システムリサーチ(株)他1社※の完全子会社化

(2007年4月)

※子会社を含む

～吉井システムリサーチ(株)の参加による  
「ITソリューションに関する技術力・ノウハウ」の強化～

- ACKグループの多様なノウハウ・開発アイデア  
➡ 吉井システムリサーチの技術力により**商品化**
- 吉井システムリサーチのもつ豊富な販売実績とネットワーク  
➡ ACKグループのサービス・商品の**販路を拡大**



## (株)総合環境テクノロジー (完全子会社) を設立 (2007年5月)

～環境、廃棄物、3R※、エネルギー分野の事業拡大を目指す～

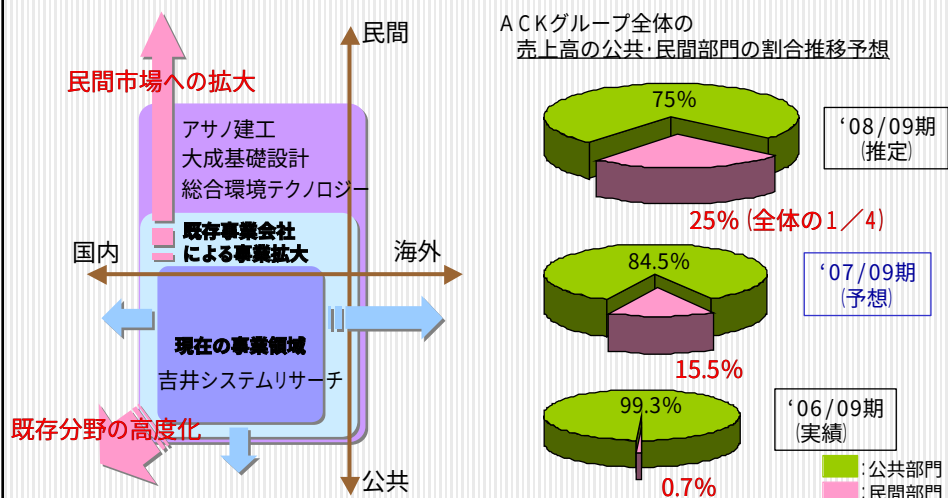
- 廃棄物に関し計画から施工管理まで一貫して対応
- 廃棄物関連技術を応用し、国内・外の3R関連業務の受注を目指す



羽幌町最終処分場

## 多様な事業展開による経営の多角化

～顧客ネットワーク、技術のシナジーによる事業拡大  
民間受注増による経営の多角化と安定的な拡大へ～



## 国土地理院の基盤地図情報作成業務を受注

～「全国を対象とした空中写真撮影による基盤地図整備事業」  
において本年度発注業務を受注～

全国10地区のうち西日本エリアの3地区（大阪、大分、新宮・土佐清水）を受注



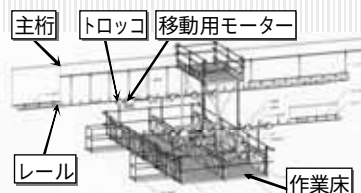
- ◆レーザー測量により  
デジタル3次元化基盤地図を整備
- ◆基盤地図は全国の各省庁、都道府県、  
市町村の骨格基盤地図として  
利活用される予定
- ◆本年度より3ヵ年で約18億円の  
予算が計上されており、  
引き続き受注が期待できる

## 「橋梁点検用移動吊足場」が最優秀活用技術賞を受賞

～「建設技術展2006近畿」において、  
“最優秀活用技術賞”、“注目技術賞”を受賞～



- ◆点検員は足場に乗ったまま  
移動が可能
- ◆技術の先進性、効果、活用性  
について高い評価



○国土交通省新技術情報提供システム  
(NETIS) 登録:SK-050011-A

○特許出願中  
(米山工業(株)との共同開発)



## 国内外の橋梁デザイン・設計コンペに参加し、受賞！

～韓国コンペで最優秀賞を受賞、  
阿倍野歩道橋デザイン・設計コンペにて優秀作品として選定～



◀オリコン、杉山デザイン研究所(オリコン)、  
惟信(韓国のコンサルタント会社)などで  
構成するコンソーシアムが最優秀賞を受賞  
現在、基本設計中(約15億ウォン)



▶JR天王寺駅(大阪市)、阿倍野再開発地区、  
近鉄百貨店を結ぶ歩道橋  
第一次審査にて優秀案3案が選定された  
現在、最終選考に応募中

## 第2メコン国際橋建設プロジェクト(ラオス・タイ)

～ラオス・タイの陸路貿易の発展に大きく貢献する  
架橋プロジェクトを基本設計から施工管理まで事業全般に携わる～



▲(現地の写真) 2006年12月20日開通

◆海路で2週間程度かかる  
バンコクーハノイ間が  
国際橋経由の陸路では  
3日程度に短縮

◆ラオス国の通信・運輸・  
郵政・建設大臣より、  
感謝状を頂いた



## CSRへの取り組み①／能登半島地震緊急調査支援活動

～いち早く社内に地震対策本部を設置し、水道・下水道の  
早期復旧に向けた緊急調査等の支援活動を実施～



- ◆初動対応から、予備調査指導、  
一次・二次調査指導、  
本復旧支援など効果的で  
即時的な活動支援を実施

ボランティア活動

▲平成19年3月25日に発生した震度6強の能登半島地震



## CSRへの取り組み②／社会貢献事業

～「帰宅経路調査」による災害時帰宅困難者問題の対策支援事業～  
(株)オリエンタルコンサルタンツの創立50周年記念事業として  
社会貢献事業を実施



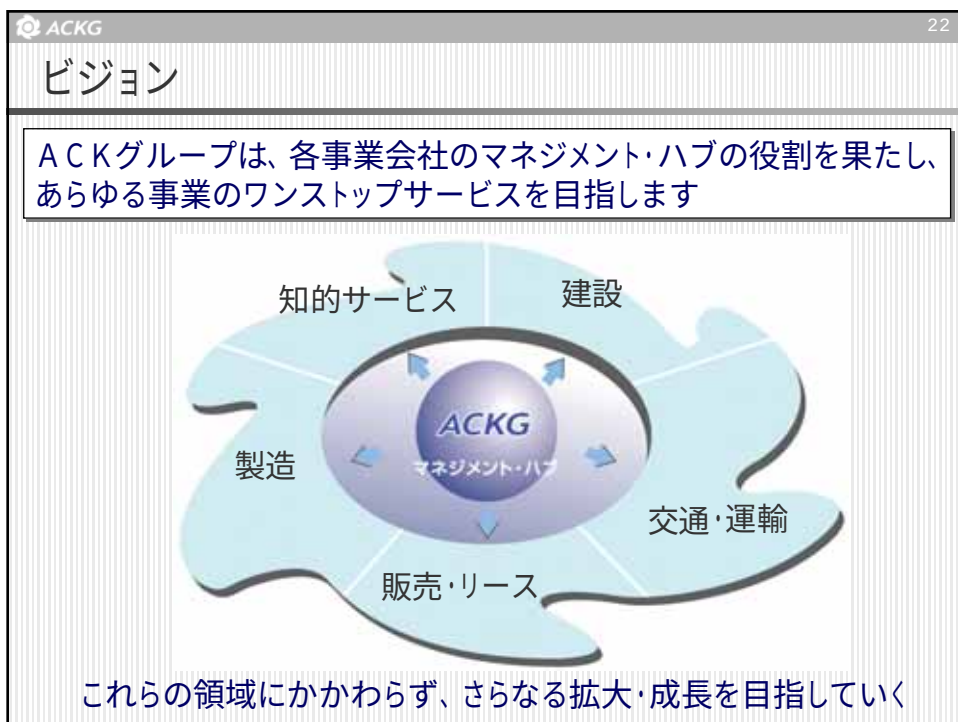
- ◆「渋谷区帰宅困難者問題研究会  
(事務局：OC)」を発足  
渋谷区、東京商工会議所渋谷支部の  
共催のもと、帰宅経路調査を実施し、  
今後、関係機関へ提供する予定

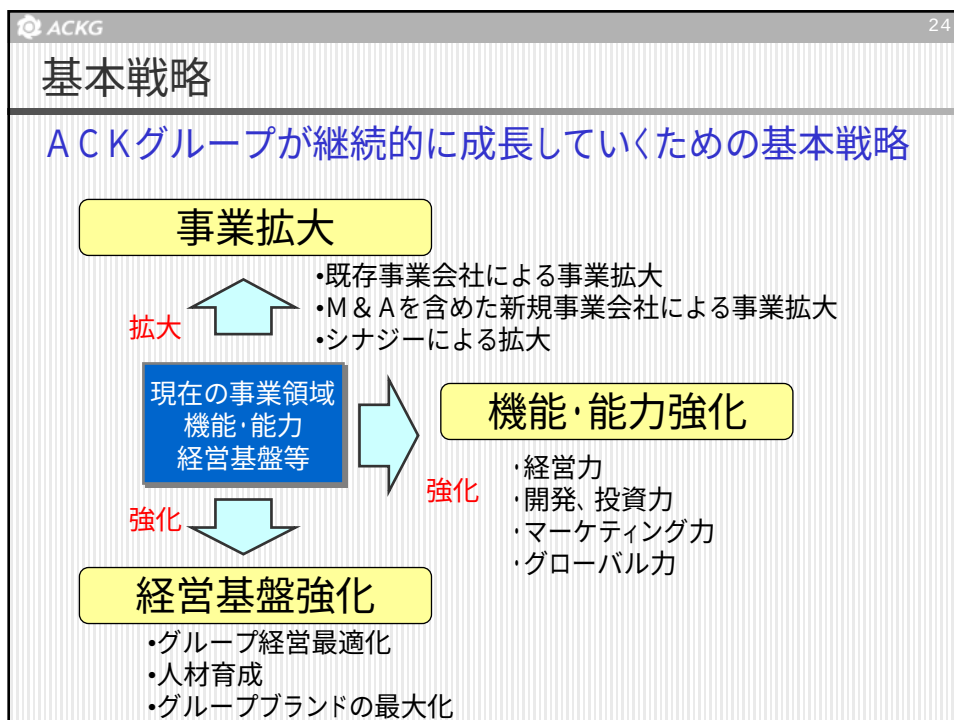
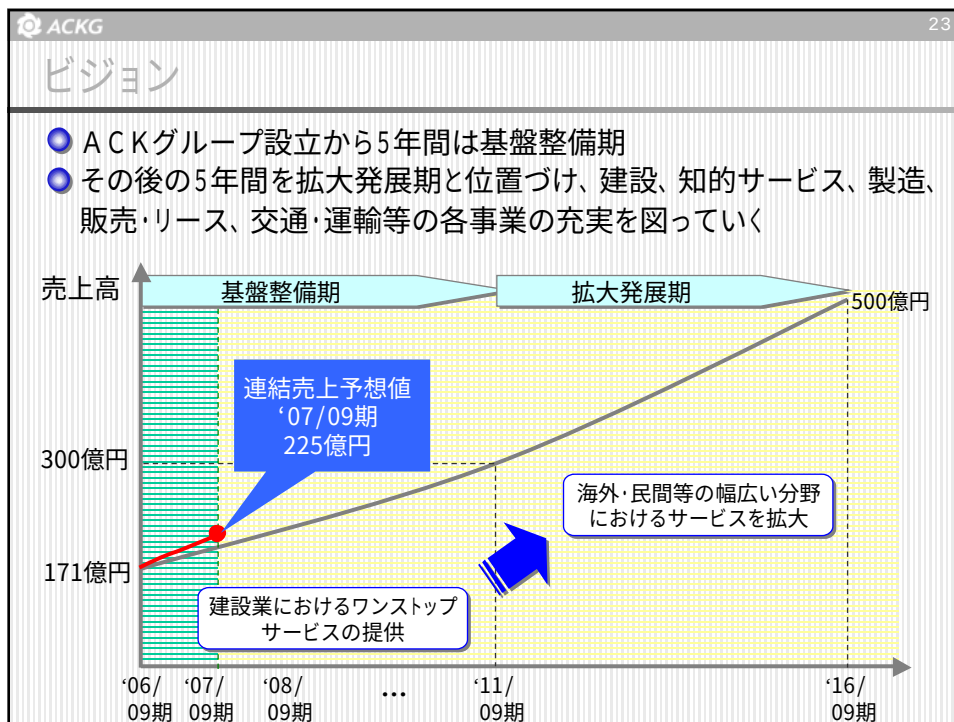
ボランティア活動

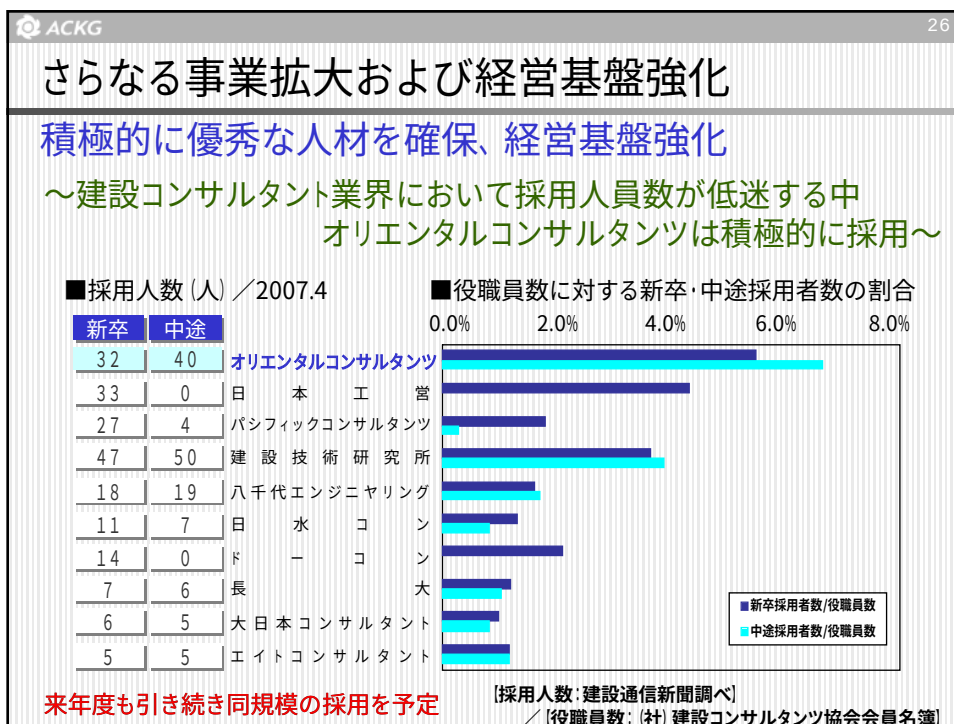
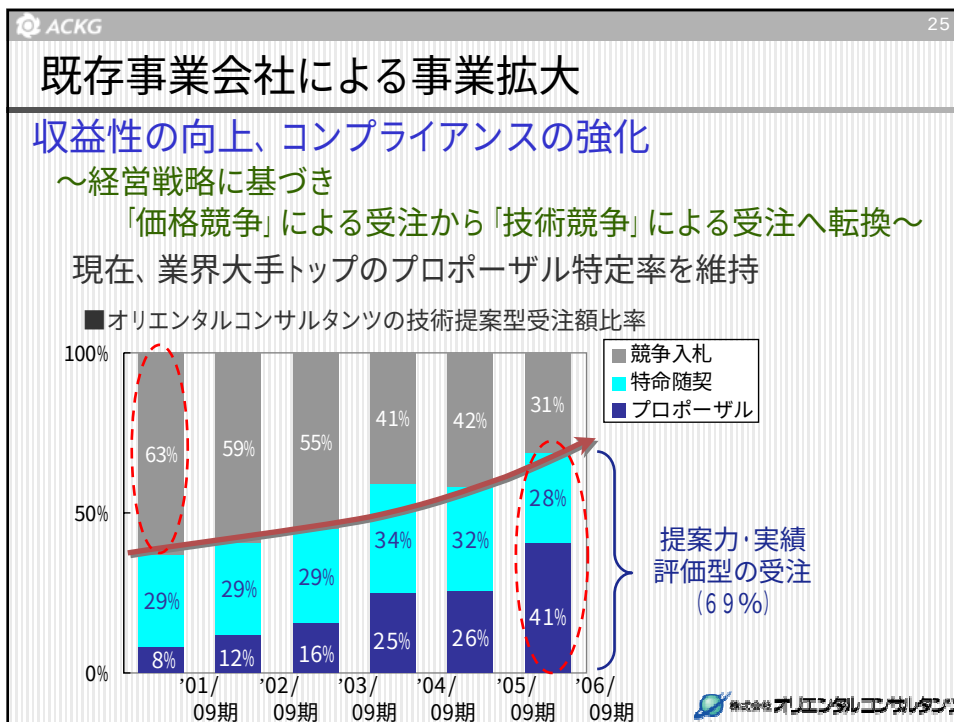
◀調査結果の取りまとめイメージ



### III: 今後の経営戦略







## グローバル力の強化／海外事業戦略

ACKグループに「国際企画室」を設置、  
グループ全体での海外進出・事業拡大へ  
～世界トップレベルの企業を目指す～

### ●グループ全体の海外戦略策定

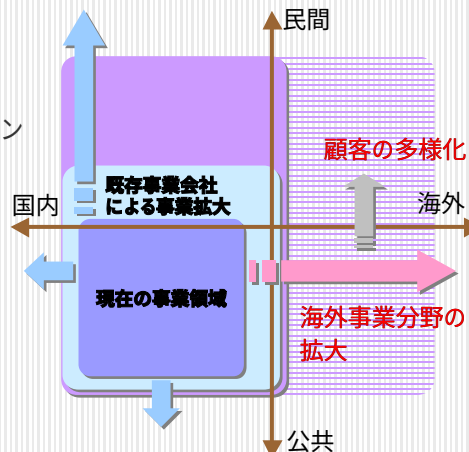
- ・継続的な情報収集
- ・中長期的 (5～10年後) 海外戦略ビジョン

### ●顧客の多様化

- ・ODA中心から、民間企業、現地政府、国際機関 (WB, ADB) の比率拡大

### ●多様なマネジメント体制の構築

- ・人材育成、組織体制の構築など

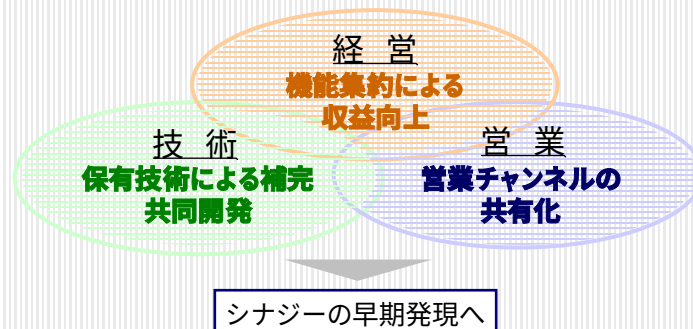


## グループの継続的成長／シナジーによる拡大

経営資源の有効活用による  
グループ運営の効率化、基盤強化

～既存、新規事業会社の連携、協力により  
スムーズな経営展開が可能に～

### ■シナジーを高める機能





## シナジーの発現事例

### 保有技術の共有、連携による技術提案により大型案件の受注

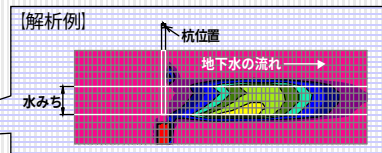
■高砂町中島柳井原線詳細設計業務委託（公募型プロポーザル）／約1.4億円／倉敷市／2007.5



▲橋梁、道路の計画、設計に関する総合的な技術力



株式会社 オリコンエンジニアリング



▲施工時の水質汚染対策の提案



大成基礎設計株式会社

連携によって高度な技術提案

### ■その他

業務受注: グループ会社の計測機器活用を盛り込んだ技術提案

追加業務受注: グループ会社の技術・知識を生かし、追加調査・解析を提案

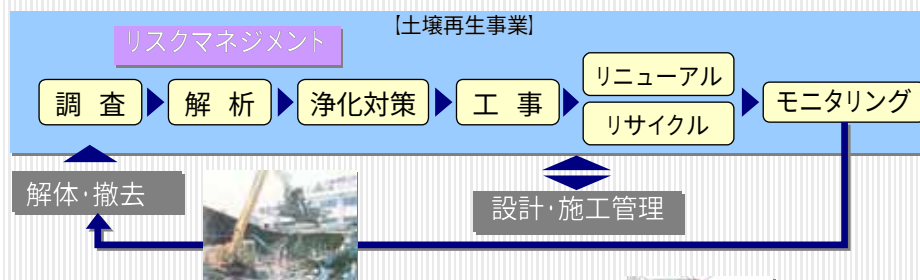
システム開発: オリコンの技術力とYSRのシステム開発力により商品開発

## シナジーによる新たなサービスの創出

### 土壌調査全面義務付け（法規制強化）にともなう事業拡大

～ACKグループの技術、ノウハウ、実績により

最適なソリューションをワンストップでサービスを提供～

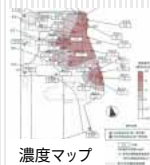


#### 土地浄化再生事業

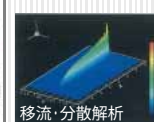
- ・土壌汚染の可能性のある土地
- ▶約11万3千ha（東京23区の2倍の広さ）
- ・その土地の資産価値
- ▶約43兆円（再開発が進まず放置）



▲調査



▲高度なシミュレーション技術による調査解析



ACKG

31

## シナジーをさらに高める機能強化

人材交流・知の結集により、新たな知を創造、  
グループ一体化の意識を醸成

■シナジー活動実践の常設組織を設置

- 「ACKグループシナジーワーキング」を設置、  
プロジェクトチーム結成によるアクションプログラム策定

休憩施設などの高機能化・高付加価値化

災害地区遠隔計測・監視システム

熱環境モニタリングシステム

今期の受注を目標

■技術開発の中心、核（コア）の明確化

- 大成基礎設計㈱の“技術研究所”をグループにおける  
技術開発の中心に知の結集を図る

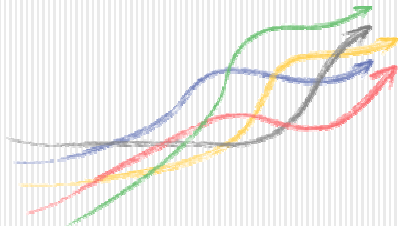
ACKG

32

ACKグループは、  
グループ各社が培ってきた技術・ノウハウの活用、  
シナジーによって拡大し、  
世界に通用する総合的なサービスを提供する  
他の追随を許さない強い企業グループに  
成長してまいります。

株式会社

ACKグループ





## IV：2007年9月期中間決算 業績報告



- 本資料に記載の売上高、受注高等の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 本資料に記載の金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載の増減率、構成比等の数値は、小数点第1位未満を四捨五入して表示しております。

| ACKG                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                   | 35 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| グループ会社の変遷と財務諸表への反映                                                                                                   |                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                   |    |
| 前中間末 ('06/09期)<br><9社>                                                                                               | 前期末 ('06/09期)<br><12社>                                                                                                                                                            | 当中間末 ('07/09期)<br><11社>                                                                                                                            | 当期末 ('07/09期)<br><14社>                                                                                                                                                                            |    |
| オリエンタルコンサルタンツ<br>中央設計技術研究所<br>ワールド<br>オリエスセンター<br>オリエス西日本<br>オリエス総合研究所<br>国土情報技術研究所<br>オリエス交通情報サービス<br>オリエスシェアードサービス | ACKグループ[1ヶ月]<br>オリエンタルコンサルタンツ<br>中央設計技術研究所<br>ワールド<br>オリエスセンター<br>オリエス西日本<br>オリエス総合研究所<br>国土情報技術研究所<br>オリエス交通情報サービス<br>オリエスシェアードサービス<br>アサノ建工<br>[B/Sのみ]<br>水建設コンサルタント<br>[B/Sのみ] | ACKグループ<br>オリエンタルコンサルタンツ<br>中央設計技術研究所<br>ワールド<br>オリエスセンター<br>オリエス総合研究所<br>国土情報技術研究所<br>オリエス交通情報サービス<br>オリエスシェアードサービス<br>アサノ建工<br>大成基礎設計<br>[B/Sのみ] | ACKグループ<br>オリエンタルコンサルタンツ<br>中央設計技術研究所<br>ワールド<br>オリエスセンター<br>オリエス総合研究所<br>国土情報技術研究所<br>オリエス交通情報サービス<br>オリエスシェアードサービス<br>アサノ建工<br>大成基礎設計<br>[6ヶ月]<br>吉井システムリサーチ他1社<br>[6ヶ月]<br>総合環境テクノロジー<br>[5ヶ月] |    |
| [B/Sのみ] は貸借対照表のみ連結していることを示しております。<br>[○カ月] は○か月分の業績が損益計算書に反映されております。                                                 |                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                   |    |

ACKG

36

# 1. 中間連結損益計算書

(単位:百万円、%)

|               | 前期中間 ('06/09期) |          | 当中間 ('07/09期) |          | 増減額 |                                                        |
|---------------|----------------|----------|---------------|----------|-----|--------------------------------------------------------|
| 売上高           | 6,715          | (100.0%) | 7,656         | (100.0%) | 940 | 新規連結子会社<br>(アサノ建工、水建設コンサルタンツ)<br>の業績が寄与し、<br>グループ規模が拡大 |
| 売上原価          | 4,823          | (71.8%)  | 5,626         | (73.5%)  | 802 |                                                        |
| 販売費・<br>一般管理費 | 2,254          | (33.6%)  | 2,467         | (32.2%)  | 212 |                                                        |
| 営業利益          | △362           | (△5.4%)  | △436          | (△5.7%)  | △74 | グループ規模拡大に伴い、<br>季節変動特性<br>(中間期赤字)が拡大                   |
| 経常利益          | △342           | (△5.1%)  | △421          | (△5.5%)  | △79 |                                                        |
| 中間純利益         | △215           | (△3.2%)  | △313          | (△4.1%)  | △98 |                                                        |
| 受注高           | 7,737          | -----    | 8,437         | -----    | 700 | 技術競争による発注が<br>主流となり、技術力のある<br>会社への発注が増加<br>業界の寡占化が進む   |

注: 前期中間 ('06/09期) は (株) オリエンタルコンサルタンツ連結の実績であります。

ACKG 37

## 2. 中間連結内訳

|                  | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | (単位:百万円)                                        |
|------------------|-------|------|------|-------|-------------------------------------------------|
| (株)ACKグループ       | 286   | 166  | 159  | 147   |                                                 |
| (株)オリエンタルコンサルタンツ | 5,846 | △352 | △300 | 149   |                                                 |
| (株)アサノ建工         | 547   | △32  | △31  | △31   |                                                 |
| (株)中央設計技術研究所     | 501   | △64  | △62  | △39   |                                                 |
| (株)ワールド          | 664   | △11  | △11  | △10   | 前期赤字決算であったワールドは、航空レーザー調査をはじめとして受注が好転業績が回復       |
| (株)オリエスセンター      | 1,117 | 45   | 45   | 32    |                                                 |
| (株)オリエス総合研究所     | 81    | △4   | △4   | △3    |                                                 |
| (株)国土情報技術研究所     | 40    | △3   | △3   | △3    |                                                 |
| (株)オリエス交通情報サービス  | 195   | 6    | 4    | 3     | オリエンタルコンサルタンツ、アサノ建工、中央設計技術研究所、ワールドは、同じような季節変動特性 |
| (株)オリエスシェアードサービス | 250   | 10   | 10   | 7     |                                                 |
| (株)水建設コンサルタント    | 0     | △10  | △11  | △12   |                                                 |
| 単純合計             | 9,528 | △251 | △205 | 241   |                                                 |
| 連結決算値            | 7,656 | △436 | △421 | △313  |                                                 |

■ (株) 水建設コンサルタントは吸収合併により消滅しておりますので、合併日までの業績を記載しております。

ACKG 38

## 3. 通期連結業績計画

通期 (平成18年10月1日～平成19年9月30日)

(単位:百万円、%)

|           | 売上高    | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|
| 期首計画 (A)  | 19,500 | 530  | 240   |
| 修正予想 (B)  | 22,500 | 650  | 290   |
| 増減額 (B-A) | 3,000  | 120  | 50    |
| 増減率 (%)   | 15.4   | 22.6 | 20.8  |

大成基礎設計 (株)、吉井システムリサーチ (株) の下期業績が寄与し、利益水準は2割以上の増加

**利益拡大  
安定利益創出へ**

## 4. 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

|             | 前期中間<br>(‘06/09期) | 当期中間<br>(‘07/09期) | 増減額   |
|-------------|-------------------|-------------------|-------|
| 流動資産        | 9,824             | 14,228            | 4,404 |
| 固定資産        | 2,541             | 4,802             | 2,261 |
| 資産合計        | 12,365            | 19,030            | 6,665 |
| 流動負債        | 6,567             | 11,759            | 5,192 |
| 固定負債        | 353               | 1,349             | 996   |
| 負債合計        | 6,920             | 13,109            | 6,189 |
| 資本金         | 500               | 502               | 1     |
| 資本剰余金       | 261               | 780               | 519   |
| 利益剰余金・自己株式  | 4,392             | 4,342             | △50   |
| 評価差額・少数株主持分 | 289               | 294               | 5     |
| 純資産合計       | 5,444             | 5,921             | 476   |
| 負債・純資産合計    | 12,365            | 19,030            | 6,665 |

既存事業会社の受注拡大、  
新規連結会社の参加により  
資産・負債が大幅増加

大成基礎設計(株)保有の  
本社ビル、研究所設備を取得

株式交換により新株を発行

注:前期中間(‘06/09期)の純資産合計は、改正後の中間財務諸表等規則に従い組み替えております。

## 5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

|                     | 前期中間<br>(‘06/09期) | 当期中間<br>(‘07/09期) | 増減額   | 主な増減要因                      |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------|-----------------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュフロー | △3,001            | △3,656            | △655  | 売上規模拡大により運転資金増加             |
| 投資活動による<br>キャッシュフロー | △163              | △162              | 1     | 子会社株式を取得                    |
| 財務活動による<br>キャッシュフロー | 2,364             | 4,015             | 1,650 | 運転資金及びM & A資金増加<br>により借入金増加 |
| 現金及び現金同等物<br>の増加額   | △801              | 195               | 996   |                             |
| 現金及び現金同等物<br>の期首残高  | 2,251             | 2,437             | 186   |                             |
| 現金及び現金同等物<br>の期末残高  | 1,449             | 2,632             | 1,182 |                             |

■売上規模の拡大により、営業キャッシュフローの季節変動の振幅が拡大


41



顧客価値の追求を通じ  
『世界の人々の豊かな  
暮らしと夢の創造』を目指し、  
今の業容にとらわれず  
サービス領域無限大へ  
チャレンジします！


42

お問合わせ先



株式会社  
**ACKグループ**



銘柄略称: ACKG  
証券コード: 2498

〒150-0036  
東京都渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷  
TEL: 03-6311-6641 (代) FAX: 03-6311-6642  
URL: <http://www.ackg.jp>  
(銘柄略称: ACKG / 証券コード: 2498)  
問合せ 統括管理本部 企画・広報室長 高坂 静夫  
e-mail: [ir-ackg@ackg.jp](mailto:ir-ackg@ackg.jp)

本日は弊社中間決算説明会に  
ご参加いただきましてありがとうございました